

トークセッション

SDGsと世界とわたし

～個人ができること、組織ができること～

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

5 ジェンダー平等を 実現しよう



- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

miwa atsuko

hokugo miyuki

スピーカー

三輪 敦子 × 北郷 美由紀

アジア・太平洋人権情報センター
(ヒューライツ大阪) 所長

朝日新聞社 記者

日時

2019年 令和元年 11月14日 木 14:00～16:00

場所

静岡県男女共同参画センター あざれあ 4F 第1研修室

スピーカー紹介



三輪 敦子

アジア・太平洋人権情報センター
(ヒューライツ大阪) 所長

日本赤十字社外事部（現国際部）、
国連女性開発基金（現 UN Women）
アジア太平洋地域バンコク事務所、
（公財）世界人権問題研究センター
において、ジェンダー、開発、人道
支援、人権分野の様々なプログラム
の実施支援や調査・研究に携わって
きた。2017年より現職。その他、（一
社）SDGs 市民社会ネットワーク共
同代表理事。2019 C20 共同議長。
国連ウィメン日本協会副理事長。



北郷 美由紀

朝日新聞 記者

2017 年から報道企画「2030 SDGs
で変える」を担当。記者として政治
部、国際報道部（ジャカルタ特派員）、
オピニオン編集部で取材。子育てシ
フトで記者の仕事から離れ、提携大
学でのジャーナリズム講座の運営や
インターン受け入れの担当をしてい
たことも。SDGs を取材するようにな
って、その「接着剤効果」を日々、
実感している。

持続可能な開発目標（SDGs）のゴールのひとつ **⑤ ジェンダー平等を実現しよう** は、ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図るためのものです。教育・雇用機会の不平等や労働市場における男女格差、性暴力や虐待、家事・ケア労働の不平等な負担、リプロダクティブ・ヘルスに関する無知など、あらゆる形態のジェンダーによる不平等や差別をなくすことは、持続可能な開発を促進するために必要です。

ゴール5が実現されると私たち社会の何がかわるのか、そのメリット、ゴール5をめぐる世界と日本の現状とその比較、他のゴールとの関係性を通し、私たちの生活が世界とどうつながっているのか知ること、**「誰も置き去りにしない」社会** のために何をどうすべきなのか、個人レベル、組織レベルでできることを考えましょう。

お申込み・お問合せ

電話・FAX・メール・お申込フォームにて、氏名、電話番号、メールアドレスをお知らせください。お申込みを受付けましたら、こちらからご連絡いたします。

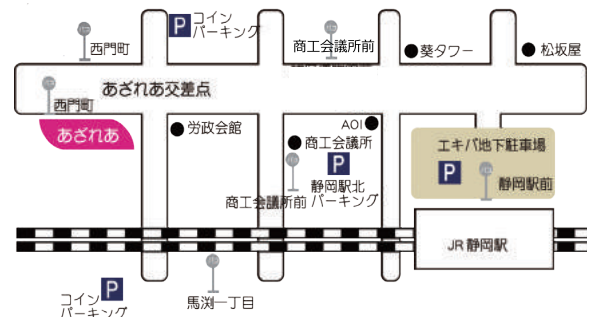
特定非営利活動法人 静岡県男女共同参画センター交流会議

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085

e-mail : azareachiiki@gmail.com

静岡県男女共同参画センターあざれあは、
JR 静岡駅北口から国道1号線沿いを西に徒歩約9分です。



トークセッション「SDGs と世界とわたし」参加申込書

ふりがな	
氏名	
電話番号	
e-mail	

FAX : 054-251-5085